

ご存じでしたか？現代っ子版『雨ニモ負ケズ』

10月21日（土）に開催された市P連主催の『語らいの広場』に実行委員として参加してきました。その折に、講師の方が話をされた一枚のスライドが特に印象に残ったので紹介します。

■宮沢賢治「雨にも負けず」

雨にも負けず 風にも負けず
雪にも夏の暑さにも負けぬ
丈夫なからだを持ち
欲は無く 決して瞋からず
何時も静かに笑っている
一日に玄米四合と
味噌と少しの野菜を食べ
あらゆる事を
自分を勘定に入れずに
良く見聞きし判り
そして忘れず
野原の松の林の影の
小さな萱葺きの小屋に居て
東に病気の子供あれば
行って看病してやり
西に疲れた母あれば
行ってその稲の束を背負い
南に死にそうな人あれば
行って怖がらなくても良いと言い
北に喧嘩や訴訟があれば
つまらないからやめろと言い
日照りのときは涙を流し
寒さの夏はオロオロ歩き
皆にデクノボーと呼ばれ
誉められもせず 苦にもされず
そういう者に 私はなりたい

■現代っ子版 雨ニモアテズ

雨にもあてず 風にもあてず
雪にも 夏の暑さにもあてず
ぶよぶよの体に たくさん着込み
意欲もなく 体力もなく
いつもブツブツ不満を言っている
毎日塾に追われテレビに吸いついて遊ばず
朝からあくびをし集会があれば貧血を起こし
あらゆることを
自分のためだけ考えてかえりみず
作業はグズグズ注意散漫し すぐに飽き
そしてすぐ忘れ
りっぱな家の
自分の部屋に閉じこもっていて
東に病人あれば
医者が悪いと言い
西に疲れた母あれば
養老院に行けと言い
南に死にそうな人があれば
寿命だと言い
北にけんかや訴訟があれば
眺めてかかわらず
ひでりのときは 冷房をつけ
みんなに勉強勉強と言われ
叱られもせず 怖いものも知らず
こんな現代っ子にだれがした

けっこう辛辣な表現があり、現在の世の中を皮肉った「雨ニモアテズ」ですが、妙に納得してしまいます。子どもを中心におく学校教育、社会教育、家庭教育とありますが、我々の行動や考えを見直すきっかけになればと思っています。

もちろん、命を守り、安心・安全の生活を守るという大前提はあります。しかし、「教えすぎ」「かまいすぎ」「甘やかさすぎ」など『やりすぎている』ところはないだろうか？『子どもが考える時間』『自己決定する機会』を子どもから奪ってはいないだろうか？しっかり振り返る必要があると考えます。予測困難な世の中だからこそ、**自分の意志・判断により自ら責任をもって行動する態度や性質＝主体性**を育てなければなりません。また、逆境に立ち向かっていくたくましさも必要です。

『教育』とは何なのか？もう一度、しっかり考えていきたいと思います。保護者の皆様も是非一緒に考えてください。よろしくお願いいたします。

11月の行事予定

1日(水)～10日(金)	1・2年生教育相談	3年三者面談
10日(金)～16日(木)	テスト前部活動停止	
14日(火)	佐世保市中学校音楽発表会	
15日(水)～17日(金)	第2回定期テスト	
19日(日)	みかわちさるく	
21日(火)	歯科検診	
28日(火)	学校保健委員会講演会	

部活動完全下校時刻
17時45分

保育実習(3年生:家庭科)の様子



ふるさと歴史発見学習(1年生:総合的な学習の時間)の様子

